

三方五湖学習

気山小学校受賞

環境教育・ESD実践動画100選

若狭町立気山小学校が作成された動画「ふるさとの宝！うなぎ筒漁体験学習」が、環境教育・ESDの実践の優良事例として、環境省主催「環境教育・ESD実践動画100選」に選ばれました。

気山小学校では、各学年の生活科や総合的な学習の時間に地元の自然資源を活用した課題学習を進めておられ、動画「ふるさとの宝！うなぎ筒漁体験学習」では、4~6年生が夏休みに三方湖で行われている伝統漁法「うなぎ筒漁体験学習」に取り組んだ様子が紹介されています。

令和5年度三方五湖自然再生協議会全体会では、この受賞について気山小学校5年生から発表がありました。



気山小学校5年生による発表

環境教育・ESD実践動画100選 #35 福井県若狭町立気山小学校



三方五湖の自然とめぐみTOPICS

若フェスに出展しました！

令和5年10月8日に開催された地域イベント「若フェス」にて、協議会ブースを設置し、自然再生・環境保全の取組み紹介や地域資源を活用した商品の紹介・販売を実施しました。

ブースには、石倉魚礁のサンプルや漁具、「昔の水辺の風景画」などを展示し、協議会の取組に触れ親しんでいただきました。



三方五湖のなかまたち

ヒロハノエビモ (ヒルムシロ科)

湖沼、水路などの水中に沈んで生育する多年生草本。福井県内では、美浜町と若狭町でのみ確認されている(県域絶滅危惧Ⅱ類)。



葉柄がなく、葉の基部は茎を抱く。穂状花序をつけ花を密につける。開花は6~9月。

自然再生関連会議等開催情報

- ◆令和5年度全体会
 - ・全体会…令和6年3月24日
- ◆自然護岸再生部会
 - ・部会会議…令和5年11月27日、令和6年3月7日
- ◆湖と田んぼのつながり再生部会
 - ・部会会議…令和5年5月1日、令和6年1月25日
- ◆外来生物等対策部会
 - ・部会会議…令和5年4月27日、6月16日、11月20日、令和6年3月6日
 - ・イベント…令和5年5月25日、28日
- ◆環境に優しい農法部会
 - ・部会会議…令和5年3月30日、8月2日、11月6日、12月6日、令和6年1月18日、2月29日
- ◆シジミのなぎさ部会
 - ・部会会議…令和5年8月24日、令和6年3月8日
 - ・視察研修…令和5年12月15日、16日

最新情報はこちらから→



問合先

- 福井県エネルギー環境部自然環境課
 - 〒910-8580 福井県福井市大手三丁目17番1号
 - TEL 0776-20-0305
- 美浜町産業政策課
 - 〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市第25号25番地
 - TEL 0770-32-6706
- 若狭町環境安全課
 - [若狭町役場三方庁舎]
 - 〒919-1333 福井県三方上中郡若狭町中央第1号1番地
 - TEL 0770-45-9126

三方五湖ニュースレター



No. 29
令和6年3月31日発行



令和5年度の活動

目次

三方五湖自然再生協議会令和5年度全体会開催 湖と田んぼのつながり再生、アカミミガメの一斉捕獲	1
シジミのなぎさ再生、湖岸等の自然再生 濁水流出防止対策、学童保育における試行企画	2
三方五湖学習、自然再生関連会議開催状況、 自然とめぐみTOPICS、三方五湖のなかまたち	3

三方五湖自然再生協議会 令和5年度全体会開催

令和6年3月24日（日）に、福井県立三方青年の家において令和5年度三方五湖自然再生協議会全体会が開催され、関係者約70名が出席しました。

今回の全体会では、今年度の自然再生事業の進捗状況や成果について報告がありました。会議に先立ち、三方五湖子どもラムサールクラブの子供たちによる発表、気山小学校児童による発表がありました。また、環境教育部会では、富田准教授（静岡大学）による学童保育における取り組みに関する報告もありました。



全体会の様子

湖と田んぼのつながり再生 田んぼでの稚魚育成

湖と田んぼのつながり再生部会では、シュロ法によるフナやコイの育成・放流を順調に進めることができました。令和5年度には、新規事業としてタモロコイの育成に取り組み、18,000匹の仔魚を水田に收容し、338匹を取り上げ放流することができました。

令和6年度には、フナ・コイをより大きく育てる技術の集積、課題の抽出により育成方法について検討し、マニュアルの改訂等を行う予定です。



梅の里小学校児童による稚魚の取り上げ
(海山漁協、菅湖畔)

〔これまでの稚魚育成の実績〕

項目	H25	R3	R4	R5
育成田数	4	31	22	21
面積(m ²)	5,196	54,637	26,987	27,429
放流数(匹)	10,990	27,287	89,024	69,570

[全体会次第]

- 開会 あいさつ
会長 鷲谷いづみ（東京大学名誉教授）
- 来賓 あいさつ
若狭町長 渡辺英朗、美浜町副町長 西村正樹
- 内容
 - 活動発表
 - 子どもラムサールクラブ 活動発表
 - 環境教育・ESD 実践動画（環境省）の受賞動画紹介
 - 令和5年度活動報告および令和6年度活動計画
 - 自然護岸再生部会
 - 湖と田んぼのつながり再生部会
 - 外来生物等対策部会（外来種対策、ヒシ対策）
 - 環境に優しい農法部会
 - 環境教育部会
 - 2023年学童保育における取り組み（報告）
 - シジミのなぎさ部会
 - 三方五湖の持続可能な地域づくり事業
 - 協議会全体
 - その他
 - 三方五湖の汽水湖沼群漁業システムモニタリングと次期保全計画について（三方五湖世界農業遺産推進協議会）
- 閉会 あいさつ
環境省中部地方環境事務所 次長 野村 環
副会長 吉田丈人（東京大学教授）
副会長 青海忠久（福井県立大学名誉教授）

アカミミガメの一斉捕獲



捕獲用わなの設置

外来生物等対策部会では、地域住民参加型の外来種駆除活動として、令和5年5月25日、28日にアカミミガメの一斉捕獲を実施しました。

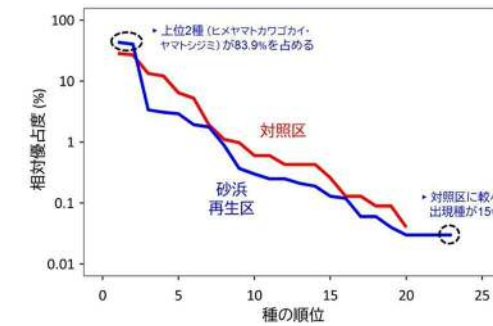
5月25日に部会員15名により、アカミミガメ捕獲用のわな46個を設置しました。わな設置から3日後の5月28日には、アカミミガメ捕獲イベントへの参加者16名と部会員等関係者17名と一緒にわなを回収し、10匹のアカミミガメを捕獲しました。捕獲したアカミミガメについては、重さなどを測ったり、観察したりして、参加者みんながアカミミガメの生態などを学びました。



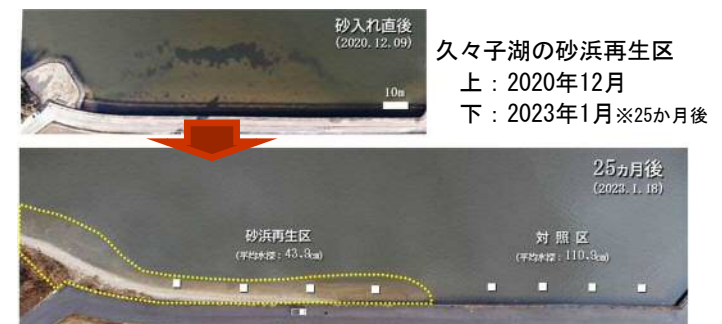
捕獲したアカミミガメの計測

シジミのなぎさ再生 なぎさ護岸再生の効果検証

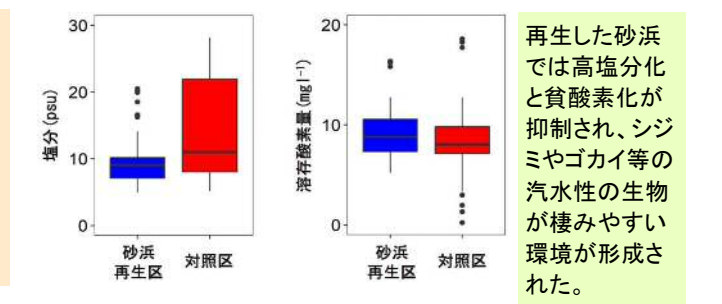
シジミのなぎさ部会では、久々子湖の砂浜再生区（2020年12月に砂を入れ、その後、冬の北風で広がった砂浜）において、なぎさ護岸再生の効果検証を行いました。検証の結果、砂浜再生区では、①環境（高塩分化、貧酸素化）が改善され、②生物多様性が増加していることが確認されました。



※ 汽水性の2種(カワゴカイ・ヤマトシジミ)が著しく増加
※ 底生動物の出現種数が増加



久々子湖の砂浜再生区
上：2020年12月
下：2023年1月※25ヵ月後



再生した砂浜では高塩分化と貧酸素化が抑制され、シジミやゴカイ等の汽水性の生物が棲みやすい環境が形成された。

※効果検証は、宮本康研究員（福井県里山里海湖研究所）にて実施されました。

湖岸等の自然再生 石倉魚礁の設置、浅場造成

自然護岸再生部会では、三方湖（山古川河口）での石倉魚礁（8基）の設置と水月湖での浅場造成を実施しました。浅場造成には若狭町内の河川浚渫で発生した土675m³を導入しました。



事業実施位置

濁水流出防止対策 浅水代かきの検討

環境に優しい農法部会では、田んぼからの濁水流出防止対策として“浅水代かき”の農法を検討しました。浅水代かきの農法では、通常の農法で実施する代かきの回数を2回から1回に減らし、代かきを浅水（土面の70～80%が見える水位）で実施します。今年度の検証では、田植えに問題はなく、イネが順調に成長することを確認しました。



浅水代かきの作業風景

学童保育における試行企画 ～三方児童クラブでの活動～

令和5年3月から令和5年12月にかけて、静岡大学大学院山岳流域研究院・富田准教授による学童保育での活動試行が企画され、5回の活動がありました。

この活動では、“放課後に子どもたちにどんな居場所・生活を大人たち（親だけではない）は提供できるのか”との視点から、学童内において“子どもたちの日常の傍らにある暮らしの営みや遊び”として、近くの川での魚とりや縄ない・しめ縄づくり、昔の水辺を描く場が企画試行されました。

活動実施にあたっては地域のおじいちゃんおばあちゃんが集まってくださり、児童たちとおしゃべりしながら丁寧に教えていただきました。



串子川での生きもの観察

昔の水辺の風景画作成



縄ない体験

しめ縄づくり